

展覧会

うたに生きる
—練馬区ゆかりの詩歌の世界—

★好評開催中です
(3月29日(日)まで)



「うたに生きる」は、詩歌のすばらしさは、すぐに暗唱できること。何度も読むことができること。いつまでも心の友になってくれること。時代や年齢を問わない

目にするかもしれない。そして歌詞では、山下達郎、尾崎豊。各氏とも、それぞれの分野で著名で、作品を

飯島耕一、松永伍一、西岡光秋、北村太郎、佐々木幹郎、伊藤比呂美。

詩では、草野心平、山之口貌、菅原克己、黒田三郎、原子朗、木島始、諏訪優、木津川昭夫、

安東次男、森澄雄、眞鍋呉夫、深見けん二、星野麥丘人、斎藤夏風。

俳句では、村山古郷、石田波郷、文挾夫佐恵、

美、千代國一、武川忠一、篠弘。

短歌では、鹿兒島壽藏、生方たつゑ、近藤芳

今回の企画展では、練馬区ゆかりの詩歌の世界を取り上げます。

短歌、俳句、詩、歌詞の分野から、練馬区に住んだ31名の作家をご紹介します。

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

「うた」と読むことのできる漢字はいくつあるでしょうか。歌、唄、唱、詩、謡……

詩歌としての「うた」、音楽としての「うた」。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

今回の企画展では、練馬区ゆかりの詩歌の世界を取り上げます。

短歌、俳句、詩、歌詞の分野から、練馬区に住んだ31名の作家をご紹介します。

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

「うた」と読むことのできる漢字はいくつあるでしょうか。歌、唄、唱、詩、謡……

詩歌としての「うた」、音楽としての「うた」。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

今回の企画展では、練馬区ゆかりの詩歌の世界を取り上げます。

短歌、俳句、詩、歌詞の分野から、練馬区に住んだ31名の作家をご紹介します。

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

「うた」と読むことのできる漢字はいくつあるでしょうか。歌、唄、唱、詩、謡……

詩歌としての「うた」、音楽としての「うた」。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

今回の企画展では、練馬区ゆかりの詩歌の世界を取り上げます。

短歌、俳句、詩、歌詞の分野から、練馬区に住んだ31名の作家をご紹介します。

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

「うた」と読むことのできる漢字はいくつあるでしょうか。歌、唄、唱、詩、謡……

詩歌としての「うた」、音楽としての「うた」。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

今回の企画展では、練馬区ゆかりの詩歌の世界を取り上げます。

短歌、俳句、詩、歌詞の分野から、練馬区に住んだ31名の作家をご紹介します。

詠み継ぎ、歌い継いできたのです。

贈るうたがあり、祝うためのうたがあり、別れのうたがあり、内省のなかでのうたがあります。

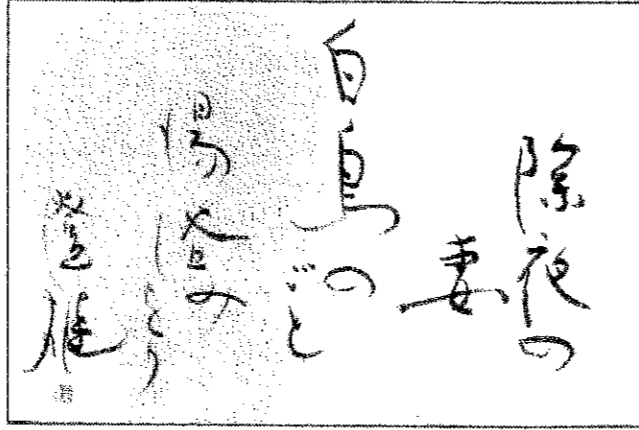
私たちが大昔から、短いことばに心をのせて、

でも、詩歌は私たちに寄り添う文芸です。今、石神井公園ふるさと文化館分室のある石神井松の風文化公園は、早春の光が差し始めました。(次項へ続く)

こと。古語も現代語もともに生き続けていて、詩歌のなかに日本語の世界が豊かに広がっていること。書や刻字などの作品にして飾る楽しみがあること。苦しい時の力になること。仕事や子育て、介護、看病に追われる中でも、少しの間に読めて、メモ用紙と筆記用具があれば、

生まれたことばを書きつけることができること。なんでも題材になること。…読んでも作っても、詩歌は私たちに寄り添う文芸です。

今、石神井公園ふるさと文化館分室のある石神井松の風文化公園は、早春の光が差し始めました。(次項へ続く)



森澄雄自筆俳句

「除夜の妻白鳥のごと湯浴みをり」

3・4月のイベント情報

日付	時間	イベント名	場所	講師等	定員	対象	費用	申込
3/8(日)	13:00~17:00	はじめての俳句ing 初心者向けの句会が体験できます。	石神井公園松の風文化公園管理棟 多目的室	講師：当室学芸員	30人	中学生以上	100円 当日払い	受付終了
3/15(日)	14:00~15:40	展示解説 展示室およびオーディオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室サポーターおよび 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
3/22(日)	13:30~15:00	講座「和」を学ぶシリーズ第10回 「獅子で生ける春の花」 伝統の生け花を親子で楽しく体験できます。	石神井松の風文化公園管理棟内 多目的室	講師：石本弘國 (練馬区華道茶道連盟理事長)	親子15組 (1組3人まで)	小学1年~ 中学3年生 を含む親子	1組700円 当日払い	3/7(土)★ 切
3/27(金)	14:00~15:40	展示解説 展示室およびオーディオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室サポーターおよび 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
3/28(土)	A回13:30~15:00 B回15:30~17:00	レコードコンサート 五味康祐作品のオーディオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと文化館分室 五味康祐オーディオ展示室	解説：当室オーディオ担当職員	各回20人	中学生以上	各回300円 当日払い	3/14(土)★ 切
3/29(日)	14:00~15:00	おはなし体験会 区立図書館員による絵本のよみかきかせです。	石神井公園松の風文化公園管理棟 和室	よみかきかせ： 練馬区立南田中国書館員	30人	幼児~小学生	無料	なし
4/12(日)	14:00~15:40	展示解説 展示室およびオーディオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室サポーターおよび 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
4/18(土)	10:00~16:00	古本交換会 自宅不要になった本を持ち寄り交換会をします。	石神井松の風文化公園管理棟内 多目的室	—	なし	どなたでも	無料	なし ※古本の事前受 付については★
4/22(木)	14:00~15:40	展示解説 展示室およびオーディオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室サポーターおよび 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
4/25(土)	A回13:30~15:00 B回15:30~17:00	レコードコンサート 五味康祐作品のオーディオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと文化館分室 五味康祐オーディオ展示室	解説：唐金利生 (T&T代表)	各回20人	中学生以上	各回500円 当日払い	3/14(土)★ 切

★の申込等方法については石神井公園ふるさと文化館HPをご覧ください。
(http://www.niebun.or.jp/furusato.html)

○ 展覧会情報 ○

「うたに生きる—練馬区ゆかりの詩歌の世界—」

開催中~3月29日(日) 9:00~18:00

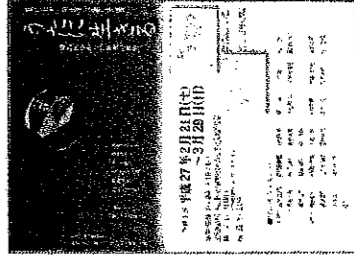
石神井公園ふるさと文化館分室 1階展示室
※毎週月曜(月曜が祝休日の場合は翌平日)および
年末年始(12月29日~1月3日)は休業

○ オーディオ展示室メンテナンス(音出し)情報 ○

毎週火・木曜日

10:00~12:00 / 14:00~16:00

2階五味康祐オーディオ展示室にて
メンテナンス(音出し)を行っており、ご自由に試聴いただけます。



展覧会の終盤にはきつと、木々も芽吹いて春の景色になっていくことでしょう。
忙しい毎日のほんのひととき、公園散策を兼ねて展覧会をご覧になりませんか。あなたを待っている「うた」があります。

企画展
「うたに生きる・練馬区ゆかりの詩歌の世界」

会 期◆開催中 3月29日(日)
観覧時間◆9時～18時
休室日◆毎週月曜日

会 場◆石神井公園ふるさと文化館分室

1階「練馬区ゆかりの文化人」展示室
(石神井松の風文化公園管理棟内)

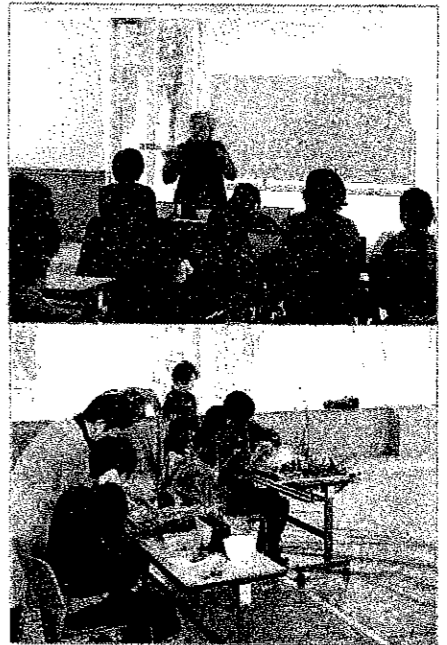
観覧料◆無料

関連イベント

おはなし会 3月29日(日) 14時～15時

練馬区立南田中図書館員による絵本のよみかかせなどがお楽しみいただけます。幼児・小学生対象。定員30名(先着順)。参加無料。申込不要。石神井松の風文化公園管理棟2階多目的室にお集まりください。

親子で生ける花



1月31日(土)、講座「和」を学ぶシリーズの第9回、講師に練馬区華道茶道連盟理事長の石本弘園さんをお招きし、「親子で生ける冬の花」を開催しました。タイトルの通り、親子で生ける花を楽しく体験できる講座です。今回生けた花は、大人用がサンシユ・キンギョソウ・レモンリーフ、子ども用がタマシダ・ガーベラ・スイートピーでした。生ける花にはいくつもの流派があり、それぞれに決まりごとがありますが、この講座ではそういったものにとらわれず、自由な発想で花を生けることができるので、表情豊かな作品がたくさん生まれます。そして、花を生けるだけでなく、「花と向き合う」ということについても思いを巡らせることのできる、心あたたまる講座です。今年度はまた3月に開催します。ぜひご参加ください。

レコードの

おそうじ



五味康祐遺愛のオーディオとともにある、約900枚のLPレコード(すべてクラシック音楽)。練馬区が一括して受け入れたとき、これらのレコードの多くは、カビが生じていたり、埃になっていたり、レコードをかける前にまず、盤面をきれいにしておかねばなりません。レコードと言っても、五味さんが愛した名盤揃いの、大切な博物館資料です。

「その道の先達」の方々に教えをいただきました。すると「市販されている洗浄液で」「精製水とアルコールを1対1に混合して」など、十人いれば十通りのクリーニング方法が。

その中から、精製水による方法と、市販の洗浄液による方法とを併用して清拭しています。盤面を丁寧に拭けば、塩化ビニールでできた盤面はピカピカに！中袋も新しいものに取り替え、ジャケットのカビも薄めたアルコールで静かに取り去ってあげると、何だかレコードも嬉しそう。何より大事なものは、どんな先輩方もおっしゃるように「大切に、レコードを愛して」扱うこと、と学んだことでした。

今月の作品

木島 始・文 佐藤忠良・画
『木』
(福音館書店 2005年)

すぐれた彫刻家であるとともに、『大きなかぶ』などの絵本の絵でも著名な、佐藤忠良と、詩人で絵本もたくさん手がけた、木島始による絵本、『木』。
大きな木の様子が、根っこから高い枝先へと話すように描かれ、木に登っていくような気持ちになる、詩心と画の美しさにあふれた1冊です。
「木のこぶにそつとさわってみよう」という一節があります。病氣と闘いながら、また木島始が自身の身体のこととも思いつながら書いたのだと、木島氏のご家族に伺いました。遺作となった、名作絵本です。
「うたに生きる」練馬区ゆかりの詩歌の世界「展」でもこの本のご紹介をしています。

次回・展覧会

「新収蔵品展

—檀さんとコミさん—

平成27年4月11日(土)～6月28日(日)

石神井公園ふるさと文化館分室に平成26年度寄贈・寄託された新収蔵品のなかから、練馬区に住んだ2人の作家—檀一雄・田中小実昌の遺品をご紹介します。「檀さん」「コミさん」と称され親しまれた2人は、いずれも直木賞作家です。蔵書や日記など、彼らの執筆の礎となった品々を展示します。

【発行・お問い合わせ】

練馬区立 石神井公園ふるさと文化館分室

(指定管理者：(公財)練馬区文化振興協会)

〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内

Tel:03-5372-2572 Fax:050-3352-2983

アクセス

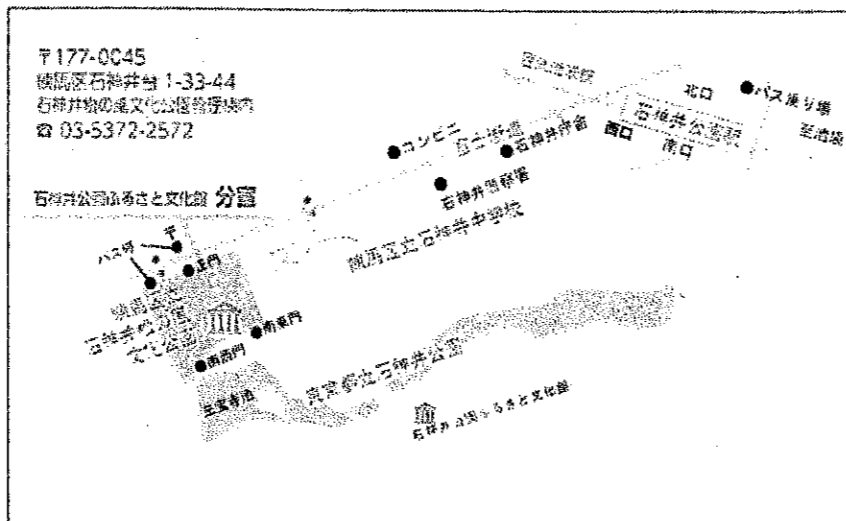
◆西武池袋線石神井公園駅(東京メトロ有楽町線、副都心線直通)

・西口から徒歩15分(富士街道沿い)

・北口から西武バス「吉祥寺駅行き」約5分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分

◆西武新宿線上石神井駅

・北口から西武バス「成増町行き」約10分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分



はじまりました! サポーターによる展示解説

1月から、サポーターによる常設展の展示解説が始まりました。解説は月2回、2人ずつの計4人が担当し、練馬区ゆかりの文化人についてご紹介をします。サポーター1人につき文化人1人の解説で、1月は藤沢周平、ちばてつや、檀一雄、近藤芳美についての説明がありました。解説にあたり昨年10月から勉強会をしてきました。しかし、勉強会に参加するだけでは解説できるようにならず、著作や研究書の読み込みをはじめ、解説者各自での勉強が必要となります。約20分の解説時間のなかにその成果が盛り込まれますが、どの解説者も非常に熱心に調査されており、また学芸員とは違った視点からの、サポーターならではの話もあり、とても興味深い内容となっています。

サポーターによる展示解説は、今年の10月まで開催されます。ぜひお越しください。

